

## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Per + Trastuzumab (がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な 進行・再発の結腸・直腸癌)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な 進行・再発の結腸・直腸癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	En-057
登録日・更新日	2022年4月26日
削除日	
出典	ハーセプチン添付文書(2022年 3月改訂) パージェタ添付文書(2022年 3月改訂) Nat Med. 2021;27:1899-1903.
入力者	船木 麻美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ペルツズマブ (パージェタ点滴静注)	420mg	840mg/body(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	60分	Day1
	生理食塩液	250mL	420mg/body(2回目以降)		30分まで短縮可能	
No.2	トラスツズマブ (ハーセプチン注射用)	60,150mg	8mg/kg(初回)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	90分	Day1
	生理食塩液	250mL	6mg/kg(2回目以降)		30分まで短縮可能	

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【投与開始基準】</p> <p>ANC ≥ 1,000/μL Plt ≥ 7.5万/μL Hb ≥ 8.0 g/dL Scr ≤ 2.0 mg/dL, or Cr ≥ 50 mL/min T-Bil ≤ 2.0 mg/dL ALT, AST ≤ 100 U/L (肝転移がある場合: ≤ 200 U/L)</p> <p>【中止基準】</p> <p>・EF &lt;50%</p>
前投薬	なし
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、HER2陽性が確認された患者に投与すること。</li> <li>RAS遺伝子変異陽性の患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。</li> <li>フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリリノテカン塩酸塩水和物による治療歴のない患者における本剤の有効性及び安全性は確立していない。</li> <li>本剤の術後補助療法における有効性及び安全性は確立していない。</li> </ul>

記入者	船木 麻美
確認者	宮地 康僚